



昭和大学歯学部  
昭和大学歯科病院

## 創設30周年



発行責任者  
編集責任者

病院長 川和忠治  
広報副委員長 山本松男  
本号編集担当 藤原 広

〒145-8515

東京都大田区北千束 2-1-1 03-3787-1151

http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/

## 昭和大学歯科病院障害者歯科のご紹介

障害者歯科科長 佐藤昌史



当科は平成16年9月に歯科病院4階小児歯科外来と並んで開設され、発達障害のお子様や知的障害、身体的障害のため通常の歯科治療やお口の健康管理が困難な方々にご相談、ご利用いただいております。

むし歯や歯肉の病気などの歯科治療は障害のない方でも、決して快適なものではありません。特に知的障害や運動機能に障害のある方では不安や緊張により

診療時のご協力を得ることができなかつたり、筋の過緊張や不随運動などが生じやすく、一般の歯科医院での治療が困難なことが多くなります。当科では日頃、患者様の状況を把握されている保護者やご家族の方と十分にご相談しながら、その方に一番適した診療方法を選ぶように努めております。

また、お口の健康を維持していくためには、ご家庭でのケアとともに、定期的なお口のチェックが非常に重要になります。当科ではその方の障害やお口の中の状況に合わせた定期診査の時期を設定し、予防処置や口腔衛生指導を含めたお口の健康管理やアドバイスをさせていただきますので気軽にご相談下さい。

なお、初めてご来院される方は予め下記までお電話でご予約頂くと、初診の際にもお待ち頂く時間が短縮できるかと存じます。ご協力の程宜しく御願ひ致します。

担当医 佐藤昌史・船津敬弘

昭和大学歯科病院「障害者歯科」

TEL 03-3787-1151 (内線 254) 小児歯科共通

## 女子自衛消防隊 優勝

管理課 松本 勝美

10月13日田園調布消防署管内の事業所を対象に自衛消防訓練審査会(旧多摩川ラケットクラブ・多目的広場)が開催されました。

当日、男女合わせて18隊(男子11隊・女子7隊)が参加し、日頃の成果を競いあった。昭和大学歯科病院女子自衛消防隊(小児歯科 上里千夏・歯内療法 永井香織・歯周病 府川 有紀)が短期間の練習にもかかわらず全員が一丸となり優勝することができました。



## お口の健康コラム(いつまでも自分の歯で噛むために)

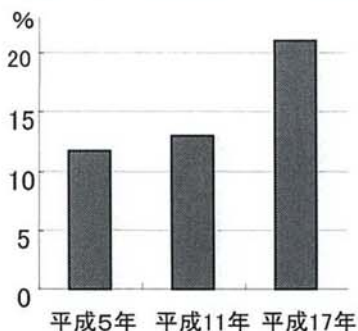
高齢者歯科教授 佐藤 裕二

最近 8020 という言葉を特によく耳にします。日本歯科医師会が提唱している「80才になっても20本の歯を残そう」という運動です。これは歯が20本ぐらいあれば、入れ歯無しでも結構噛むことができるということから生まれました。日本人の寿命は年々伸び、今や人生80年時代となり、世界一の長寿国になりました。ところが、歯の寿命はといえば？

では実際にどのくらいの方が8020を達成しているのでしょうか？



### 80歳以上で20本の歯がある方の割合



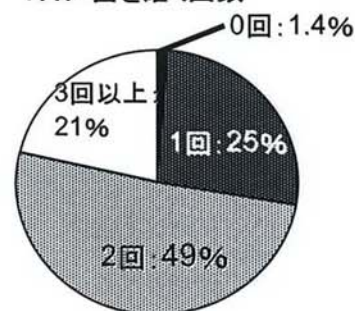
厚生労働省の2005年歯科疾患実態調査でデータを取り始めた1987年以来、初めて80～84歳で歯が20本以上ある人の割合が20%を超え21.1%になったことがわかりました。「2010年に20%以上」が目標でしたが、5年も早く達成しました。

厚労省は、国民の歯科保健に対する関心が高まったことや、なるべく歯を残そうとする治療が広まっていることが理由とみています。年を取っての楽しみの中で一番重要なのは「おいしいものを食べること」です。自分の歯でおいしく（入れ歯などを気にせず）食べられるかどうかは生活の質（Quality of Life）に大いに影響を及ぼしてきます。

歯磨きの回数は1日2回が49%、3回以上が21%で、磨かない人も1.4%いました。歯を失う2大原因は虫歯と歯周病です。この病はすでに予防方法がほぼ確立されています。定期健診と食後の歯ブラシが重要ということになるのでしょうか？

8020運動のおかげもあって確かに歯が残っている方が増えてはきましたが、実際には多くの方が入れ歯のお世話になっています。あっていない入れ歯を長期間使用すると支えになっている歯が揺れてきたり、顎の骨が吸収して平らになり入れ歯が不安定になります。特に痛みがなくても定期的に歯科を受診する習慣を持っていただくとよいと思います。当院高齢者歯科では、なるべく歯を残そうとする治療とハガキによる定期健診のご案内などを行って8020の達成に微力ながら貢献したいと考えています。

1日に歯を磨く回数



## 昭和大学歯科病院によせられた患者さまの声

ご意見	回答
歯磨きコーナの後ろにカーテンまたは、パーテーションなどの通行人の視線を遮る物を付けて頂けませんか。	スクリーンカーテンを設置致しました。ご使用下さい。
姿勢が悪くなった患者さんも多く、長い時間診察・治療台上に仰向けになることはかなり苦痛を伴います。	そのような場合は、ご遠慮なく職員にお申し出下さいませ。気付かず診療している場合がありますが、職員からもお声を掛ける様に致します。
レントゲン担当者により説明不足と歯が痛いにも関わらず“当て物”を強制的に押しつけるのは止めて欲しい。	担当医、X線撮影技師より患者様へのインフォームドコンセント・撮影時の配慮等が欠けたことにより、ご迷惑をお掛けいたしました。お詫び致します。今後、このようなことが起きないように職員に注意致しました。

## 報道された歯科

歯周病科 教授 山本松男先生が、日本歯科医師会いい歯の日歯科受診啓発広告に取材協力した紙面が、朝日新聞(11月8日朝刊)に掲載されました。